

令和4年度 9月補正予算案等概要

I 総括

1 歳入歳出予算補正

(1) 補正規模

(単位:千円)

	当初予算	現在予算	今回補正	補正後予算
一般会計	1,041,010,000	1,048,315,339	7,680,526	1,055,995,865
特別会計	715,523,605	715,523,605	1,779,000	717,302,605
企業会計	329,145,578	329,245,578	0	329,245,578
合計	2,085,679,183	2,093,084,522	9,459,526	2,102,544,048

【参考】

今回補正における一般会計の主な財源内訳

○一般財源	・繰越金	1,648,634
○特定財源	・国庫支出金	4,119,265
	・市債	1,779,000

(2) 補正の概要

(単位:千円)

① 新型コロナウイルス感染症対応	<u>3,089,576</u>
② 公共事業(国の内示等に伴う変更)	<u>4,132,515</u>
③ その他	<u>458,435</u>
④ 市債管理特別会計	<u>1,779,000</u>
※他会計の補正に伴う市債収入金繰出金	

2 繰越明許費補正〔3件〕

(単位:千円)

追加補正額	<u>265,000</u>
-------	-----------------------

3 債務負担行為補正〔2件〕

(単位:千円)

追加補正額	<u>606,612</u>
-------	-----------------------

II 内容

1 歳入歳出予算補正

① 新型コロナウイルス感染症対応

3,089,576 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
医療・介護施設等従事者検査事業 医療・介護・保育施設等の従事者等を対象に、スクリーニング検査を無償で実施	1,129,064	福祉局 保健医療局 こども未来局
検査・入院医療費の公費負担 保険適用の検査及び入院医療に係る自己負担相当額を公費負担	1,295,800	保健医療局
新型コロナウイルス感染者等支援体制確保事業 新型コロナウイルス感染者等の介護を行った介護施設等の従事者に対する支援を実施	348,670	福祉局
生活困窮者自立支援金 緊急小口資金及び総合支援資金の貸付を終了した世帯等に支給する自立支援金の申請期限を9月末まで延長 (単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円)	316,042	福祉局

② 公共事業(国の内示等に伴う変更)

4,132,515 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
街路整備事業 都市計画道路整備事業(野間屋形原線等)の増額	2,934,938	道路下水道局
道路整備事業 博多駅前線、橋梁のアセットマネジメントの増額等	562,599	道路下水道局
河川整備事業 都市基盤河川改修事業(周船寺川等)の増額等	471,000	道路下水道局
公園整備事業 公園再整備事業の増額	138,978	住宅都市局
漁港施設整備事業 漁港施設整備事業(西浦漁港、唐泊漁港、玄界漁港)の増額	25,000	農林水産局

③ その他

458,435 千円

i) DXの推進

304,011 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
番号制度対応経費 各区役所・出張サポート窓口等におけるマイナンバーカード・ マイナポイント申請サポートの拡充	245,079	総務企画局
コンビニでの証明書手数料の減額 マイナンバーカードを用いた住民票等のコンビニ交付手数料を 減額	43,038	市民局
福岡市公共施設案内・予約システム(通称コミネット)の刷新 スポーツ施設等の予約システムの刷新	15,894	総務企画局

ii) その他

154,424 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
スポーツ施設改修事業補助金 パピオアイスアリーナの再開に必要な改修経費の一部を補助	123,313	市民局
障がい者スポーツセンター運営 障がい者スポーツセンターにおけるスポーツ用具の購入	14,986	福祉局
障がい福祉サービスシステム改修 国のデータベース構築に伴う本市システムの改修	16,125	福祉局

④ 市債管理特別会計

1,779,000 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
一般会計への市債収入金繰出金	1,779,000	財政局

2 繰越明許費補正〔3件〕

265,000 千円

(単位:千円)

工期の都合等により、年度内に完了しないもの
※ふれあいの森推進事業、公共交通バリアフリー化促進事業 外

3 債務負担行為補正〔2件〕

606,612 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
油山市民の森等リニューアル事業	465,467	農林水産局
博多区役所駐車場改築等工事	141,145	市民局

令和3年度決算概要

<一般会計・特別会計>

(単位:千円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計
最終予算額	1,240,380,734	804,813,124
歳入決算額(A)	1,169,495,577	755,719,130
歳出決算額(B)	1,155,092,037	748,636,179
形式収支額(C=A-B)	14,403,540	7,082,951
翌年度繰越財源(D)	5,053,521	414
実質収支額(E=C-D)	9,350,019	7,082,537
摘 要	【歳入過不足額】 Δ 19,569,191 【歳出不用額】 28,919,210	主な実質収支 国民健康保険事業 3,313,654 香椎駅周辺土地区画整理事業 1,556,831 介護保険事業 1,116,505 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 949,159

<企業会計>

(単位:千円)

区 分		収益的収支	資本的収支
下水道事業	収入	55,558,560	32,265,508
	支出	49,851,273	59,350,216
	差引	5,707,287	Δ 27,084,708
モーターボート競走事業	収入	85,768,686	-
	支出	78,855,014	3,595,193
	差引	6,913,672	Δ 3,595,193
水道事業	収入	38,665,527	11,916,086
	支出	32,012,540	28,047,078
	差引	6,652,987	Δ 16,130,992
工業用水道事業	収入	249,343	318,320
	支出	179,023	374,784
	差引	70,320	Δ 56,464
高速鉄道事業	収入	30,284,067	31,909,730
	支出	29,211,803	47,274,539
	差引	1,072,264	Δ 15,364,809
企業会計計	収入	210,526,183	76,409,644
	支出	190,109,653	138,641,810
	差引	20,416,530	Δ 62,232,166

令和3年度企業会計利益の処分

(単位:千円)

区 分	当年度未処分利益剰余金	利益剰余金処分類				翌年度繰越利益剰余金
		(資本金)	(減債積立金)	(建設改良積立金)	(一般会計繰出金)	
下水道事業	12,345,092	8,023,042	4,322,050	-	-	-
モーターボート競走事業	14,089,565	-	-	-	3,500,000	10,589,565
水道事業	8,247,551	5,050,455	3,197,096	-	-	-
工業用水道事業	560,144	-	-	-	-	560,144
高速鉄道事業	-	-	-	-	-	-
企業会計計	35,242,352	13,073,497	7,519,146	-	3,500,000	11,149,709

令和3年度決算に基づく健全化判断比率等について

「健全化判断比率」は、いずれも早期健全化基準を下回る水準

- 「実質公債費比率」は、8.8%で早期健全化基準を16.2ポイント下回る
- 「将来負担比率」は、82.9%で早期健全化基準を317.1ポイント下回る
- 「資金不足比率」は、各公営企業いずれも黒字

健全化判断比率の各指標	令和3年度決算	早期健全化基準	財政再生基準	摘要
実質赤字比率【フロー指標】 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 $\frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$	—	11.25%	20%	○実質収支額 一般会計 94億円の黒字
連結実質赤字比率【フロー指標】 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 $\frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$	—	16.25%	30%	○実質収支額 全会計 593億円の黒字 ・主なもの 一般会計 94億円 モーターボート競走 183億円 下水道 139億円 水道 112億円
実質公債費比率【フロー指標】 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（3か年平均） $\frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{算入公債費等})}{\text{標準財政規模} - \text{算入公債費等}}$	8.8%	25%	35%	前年度から0.9ポイント低下 参考：令和2年度決算 9.7%
将来負担比率【ストック指標】 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率 $\frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能財源等}}{\text{標準財政規模} - \text{算入公債費等}}$	82.9%	400%		前年度から24.2ポイント低下 ○将来負担額の内容 市債 14,015億円 債務負担 336億円 公営企業 2,517億円 一部事務組合等 28億円 退職手当 882億円 三セク等 100億円 参考：令和2年度決算 107.1%

資金不足比率		令和3年度決算	経営健全化 基準	財政再生 基準	摘要
資金不足比率 【フロー指標】 公営企業ごとの 資金の不足額の事 業規模に対する比 率	モーターボート競走	—	20%	/	
	下水道	—			
	水道	—			
	工業用水道	—			
	高速鉄道	—			
	集落排水	—			
	中央市場	—			
	港湾整備	—			
	市営渡船	—			

- ※ 実質赤字比率、連結実質赤字比率及び資金不足比率については、黒字の場合「—」で表示します。
- ※ 令和3年度の標準財政規模は、4,515億円です。
- ※ 標準財政規模とは、税収や普通交付税など各自治体に共通した標準的な収入のことで、自治体が通常水準の行政サービスを提供するうえで必要な一般財源の目安となる数値です。